

2009年3月期第2四半期累計期間 決算補足資料

- | | |
|------------------------|----------|
| 1. 決算概観 | p. 1 |
| 2. 損益計算書の概要 | p. 2～3 |
| 3. 貸借対照表の概要 | p. 4 |
| 4. 研究開発費・設備投資・減価償却費の状況 | p. 5～6 |
| 5. 主要製品売上の状況 | p. 7～8 |
| 6. 開発品一覧 | p. 9～11 |
| 7. 主な業績項目の推移 | p. 12 |
| 8. 杏林製薬単体資料 | p. 13～16 |
| 9. 参考資料: 主な子会社の業績と予想 | p. 17 |

2008年11月11日

株式会社キョーリン



2009年3月期第2四半期累計期間 決算概観(連結)

09年3月期 第2四半期累計期間連結業績(実績)

【売上】 国内新医薬品等の売上が増加し、売上高は403億円（前年比2.3%増）となりました。

【利益】 売上高が増加したものの、一時金収入の減少、薬価改定の影響により売上原価率が上昇し、売上総利益が約21億円減少しました。

一方、販売費及び一般管理費は約6億円減少した結果、営業利益は12億円（前年比55.4%減）となりました。

四半期純利益は、特別損失としてガチフロの自主的な販売中止に伴う損失約26億円及び投資有価証券評価損約4億円を計上した結果、▲16億円となりました。

09年3月期 通期連結業績(予想)

【売上】 国内新医薬品においては、販売中止いたしましたガチフロの売上減の影響はあるものの、主要製品の売上拡大及び08年10月1日付で実施した日清キョーリン製薬(株)の吸収合併により、連結売上高は886億円（前年比9.3%増）と伸長する見込みです。

【利益】 日清キョーリン製薬(株)との統合が収益に貢献し、営業利益は67億円（前年比7.2%増）と増益を見込みます。当期純利益は、特別損失約34億円を予想することから16億円（前年比26.9%減）を見込みます。

単位： (百万円)	07年3月期 第2四半期	08年3月期 第2四半期	09年3月期 第2四半期	前年比
売上高	35,093	39,363	40,261	2.3%
営業利益	1,940	2,788	1,243	▲55.4%
経常利益	2,061	3,118	1,175	▲62.3%
四半期(当期) 純利益	833	953	▲1,606	—
EPS	11.21円	12.74円	▲21.48円	—
総資産	117,915	121,776	123,299	1.3%
純資産	94,993	97,427	94,304	▲3.2%

09年3月期 (予想)	前年比	09年3月期 (当初予想)
88,600	9.3%	90,400
6,700	7.2%	8,000
7,000	5.4%	8,400
1,600	▲26.9%	4,900
21.39円	—	65.49円
—	—	—
—	—	—

損益計算書の概要：連結①

(単位:百万円)

	08年3月期 第2四半期		09年3月期 第2四半期累計期間			
	実績	売上比	実績	売上比	前同比	前年増減額
売上高	39,363	100.0%	40,261	100.0%	2.3%	897
新医薬品	32,801	83.3%	33,046	82.1%	0.7%	244
国内	30,289	76.9%	31,239	77.6%	3.1%	950
海外	2,512	6.4%	1,806	4.5%	▲28.1%	▲705
後発医薬品	2,539	6.5%	2,929	7.3%	15.4%	390
ヘルスケア	3,545	9.0%	3,684	9.2%	3.9%	139
その他	477	1.2%	600	1.5%	25.8%	123

<適応範囲及び持分法の適用について>

連結子会社9社：杏林製薬(株) (株)杏文堂 (株)ビストナー
 ビストナー壱号投資事業有限責任組合
 Kyorin USA,Inc. Kyorin Europe GmbH
 ActivX Biosciences,Inc.
 キョーリンリメディオ(株)
 ドクタープログラム(株)
 持分法適用会社2社：日清キョーリン製薬(株)
 日本理化学薬品(株)

<当期のポイント>

対前年

- 売上高 40,261百万円 (+ 897百万円)
- 国内新医薬品 31,239百万円 (+ 950百万円)

前期実績 当期実績 (億円)

- ・ムコダイン 90 → 87 (▲ 3)
- ・キプレス 79 → 104 (+ 25)
- ・ペンタサ 44 → 71 (+ 27)
- ・ウリトス 5 → 6 (+ 1)

* その他(バイナス、ヘスバンダーの自社販売終了)、一時金収入の減少等
 * ガチフロ錠は9月30日付で自主的に販売中止

- 海外新医薬品 1,806百万円 (▲ 705百万円)

- ・ガチフロキサシン 16 → 14 (▲ 2)

* 一時金収入の減少

- 後発医薬品 2,929百万円 (+ 390百万円)

* 重点商品の伸長、追補品・承継品による売上増加

- ヘルスケア 3,684百万円 (+ 139百万円)

- ・ミルトン 10 → 9 (▲ 1)

- ・ドクタープログラム社 16 → 19 (+ 3)

- その他 600百万円 (+ 123百万円)

損益計算書の概要：連結－②

(単位：百万円)

	08年3月期 第2四半期		09年3月期 第2四半期累計期間			
	実績	売上比	実績	売上比	前同比	前年増減額
売上高	39,363	100.0%	40,261	100.0%	2.3%	897
売上原価	14,701	37.3%	17,718	44.0%	20.5%	3,016
売上総利益	24,661	62.7%	22,542	56.0%	▲8.6%	▲2,119
販売費及び一般管理費 (うち研究費)	21,873 (5,676)	55.6% 14.4%	21,298 (4,968)	52.9% 12.3%	▲2.6% (▲12.5%)	▲575 (▲708)
営業利益	2,788	7.1%	1,243	3.1%	▲55.4%	▲1,544
営業外収益	525	1.3%	418	1.0%	▲20.5%	▲107
営業外費用	195	0.5%	486	1.2%	148.4%	290
経常利益	3,118	7.9%	1,175	2.9%	▲62.3%	▲1,942
特別利益	5	0.0%	92	0.2%	1530.4%	87
特別損失	449	1.1%	3,116	7.7%	593.9%	2,666
税金等調整前 四半期純利益	2,675	6.8%	▲1,847	▲4.6%	—	▲4,522
法人税・住民税 及び事業税	842	2.2%	1,353	3.4%	60.7%	511
法人税等調整額	878	2.2%	▲1,594	▲4.0%	—	▲2,473
四半期純利益	953	2.4%	▲1,606	▲4.0%	—	▲2,560

<当期のポイント>

- ◆原価率：前年比 6.7ポイント上昇
(37.3%→44.0%)
* 上昇要因：薬価改定(約4%)の影響、一時金収入の減少、製品販売構成の変化
- ◆研究開発費率：前年比 2.1ポイント低下
(14.4%→12.3%)
* 57億円→50億円(7億円減少)
減少要因：前期は共同開発の費用の期ずれによる計上
増加要因：導入品フルチフォームの契約一時金を計上
- ◆販管費率(除R&D費)：前年比0.5ポイント低下
(41.1%→40.6%)
* 162億円→163億円(1億円増加)
- 営業利益 1,243百万円
(▲1,544百万円)
* 営業利益率は3.1%と4.0ポイント低下
- 四半期純利益 ▲1,606百万円
(▲2,560百万円)
* 特別損失：約31億円(ガチフロ約26億円、投資有価証券評価損約4億円等)
- 配当(第2四半期末) 4円00銭

貸借対照表の概要：連結

(単位：百万円)

	08年3月期		09年3月期第2四半期累計期間		
	実績	構成比	実績	構成比	前期末増減
流動資産	66,016	53.9%	69,166	56.1%	3,150
現金および預金	10,647		12,933		
受取手形及び売掛金	28,995		27,254		
有価証券	2,209		2,424		
棚卸資産	19,770		20,693		
その他流動資産	4,392		5,860		
固定資産	56,382	46.1%	54,132	43.9%	▲2,249
有形固定資産	18,214		17,989		
無形固定資産	2,356		1,522		
投資その他	35,811		34,620		
資産合計	122,398	100.0%	123,299	100.0%	901
流動負債	19,201	15.7%	23,094	18.7%	3,892
支払手形及び買掛金	10,792		10,377		
その他流動負債	8,409		12,716		
固定負債	6,012	4.9%	5,901	4.8%	▲111
負債合計	25,214	20.6%	28,995	23.5%	3,781
株主資本	96,401	78.8%	94,192	76.4%	▲2,208
評価・換算差額等	782	0.6%	111	0.1%	▲671
純資産合計	97,184	79.4%	94,304	76.5%	▲2,879
負債及び純資産合計	122,398	100.0%	123,299	100.0%	901

<当期のポイント>

■ 流動資産：3,150百万円増

- ・現金、預金の増加 (2,286百万円増)
- ・受取手形、売掛金の減少 (1,740百万円減)
- ・有価証券の増加 (215百万円増)
- ・棚卸資産の増加 (923百万円増)
- ・その他流動資産の増加 (1,468百万円増)

■ 固定資産：2,249百万円減

- ・有形固定資産の減少 (224百万円減)
- ・無形固定資産の減少 (834百万円減)
- ・投資その他の減少 (1,190百万円減)

■ 流動負債：3,892百万円増

- ・支払手形及び買掛金の減少 (414百万円減)
- ・その他流動負債の増加 (4,307百万円増)

■ 固定負債：111百万円減

研究開発費・設備投資・減価償却費の状況<連結>第2四半期



健康はキョーリンの願いです。

(単位:百万円)

	06年3月期 第2四半期	07年3月期 第2四半期	08年3月期 第2四半期	09年3月期第2四半期		09年3月期 (予想)	09年3月期 (当初予想)
				実績	増減比		
研究開発費	6,001	3,982	5,676	4,968	▲12.5%	11,000	12,200
設備投資(計上ベース)	982	1,223	1,451	1,115	▲23.2%	2,500	2,600
減価償却費	1,660	2,304	2,214	2,028	▲8.4%	3,800	4,000

<設備投資の状況(実績/計画)>

	08年3月期	09年3月期	
	実績	第2四半期実績	通期計画
(実績)			
工場設備	12億円		
管理・販売設備	2億円		
研究用設備	5億円		
(実績/計画)			
工場設備		3億円	10億円
管理・販売設備		5億円	8億円
研究用設備		3億円	7億円

研究開発費・設備投資・減価償却費の状況<連結>通期

(単位:百万円)

	04年3月期	05年3月期	06年3月期	07年3月期	08年3月期		09年3月期 (予想)	09年3月期 (当初予想)
					実績	増減比		
研究開発費	8,219	12,698	10,107	8,609	10,826	+25.7%	11,000	12,200
設備投資	5,670	6,172	4,605	2,954	1,952	▲33.9%	2,500	2,600
減価償却費	4,774	3,894	3,646	4,544	4,536	▲0.2%	3,800	4,000

<設備投資の状況(実績/計画)>

	08年3月期	09年3月期
	実績	計画
(実績)		
工場設備	12億円	
管理・販売設備	2億円	
研究用設備	5億円	
(計画)		
工場設備		10億円
管理・販売設備		8億円
研究用設備		7億円

主要製品売上の状況：第2四半期

	06年3月期 第2四半期	07年3月期 第2四半期	08年3月期 第2四半期	09年3月期第2四半期		09年3月期 (予想)	09年3月期 (当初予想)	
				実績	前 同 比			
国内新医薬品	キプレス (ロイコトリエン受容体拮抗剤)	61	69	79	104	30.8%	234	216
	ガチフロ(自社販売) (合成抗菌剤)	11	11	11	9	▲18.7%	6	23
	ムコダイン (去痰剤)	85	89	90	87	▲3.9%	207	216
	バクシダール (合成抗菌剤)	3	3	2	2	▲13.4%	4	4
	ケタス (気管支喘息・脳血管障害治療剤)	32	29	28	26	▲7.2%	52	52
	アプレース (抗潰瘍剤)	12	10	9	8	▲15.9%	15	16
	ロカルトロール (骨粗鬆症治療剤)	11	10	9	8	▲12.2%	16	16
	ペンタサ (潰瘍性大腸炎・クローン病治療剤)	36	40	44	71	62.5%	155	151
	ウリス(自社販売) (過活動膀胱治療剤)	—	—	5	6	25.9%	19	20
海外新医薬品	海外売上合計	42	22	25	18	▲28.1%	32	40
	ガチフロキサシン (バルク・ロイヤルティ含む)	35	18	16	14	▲12.3%	26	29
	ノルフロキサシン (バルク)	2	2	1	1	86.0%	1	2
	海外売上比率	12.6%	6.3%	6.4%	4.5%	—	3.6%	4.4%
ヘルスケア	ミルトン (哺乳ビン・乳首消毒剤)	11	10	10	9	▲2.5%	20	21

(単位：
億円)

主要製品売上の状況: 通期



健康はキョーリンの願いです。

		05年3月期	06年3月期	07年3月期	08年3月期		09年3月期 (予想)	09年3月期 (当初予想)	(単位: 億円)
					実績	前 同 比			
国内 新薬品	キプレス (ロイコトリエン受容体拮抗剤)	118	134	150	191	26.9%	234	216	
	ガチフロ(自社販売) (合成抗菌剤)	23	25	25	23	▲5.9%	6	23	
	ムコダイン (去痰剤)	190	199	204	212	3.6%	207	216	
	バクシダール (合成抗菌剤)	7	6	6	5	▲12.2%	4	4	
	ケタス (気管支喘息・脳血管障害治療剤)	66	63	58	54	▲6.2%	52	52	
	アプレース (抗潰瘍剤)	26	24	20	18	▲13.0%	15	16	
	ロカルトロール (骨粗鬆症治療剤)	24	22	19	18	▲7.9%	16	16	
	ペンタサ (潰瘍性大腸炎・クローン病治療剤)	64	73	80	88	9.3%	155	151	
	ウリス(自社販売) (過活動膀胱治療剤)	—	—	—	7	—	19	20	
海外 新薬品	海外売上合計	88	86	58	43	▲24.8%	32	40	
	ガチフロキサシン (バルク・ロイヤルティ含む)	80	67	32	30	▲7.2%	26	29	
	ノルフロキサシン (バルク)	4	3	4	3	▲24.8%	1	2	
	海外売上比率	13.3%	11.6%	7.5%	5.3%	—	3.6%	4.4%	
ヘルスケア	ミルトン (哺乳ビン・乳首消毒剤)	23	21	21	19	▲5.8%	20	21	

開発品一覧①(08年11月11日現在)

Ph II ~ 申請中

※: 前回(09年3月期第1四半期)からの変更点を示す

開発段階		製品名・ 開発コード	薬効	起源	特徴	備考
国内	海外					
※申請 (07年12月)		ペンタサ	潰瘍性大腸炎・ クローン病 治療剤	フェリング 社	潰瘍性大腸炎の用法・用量変更 (高用量の追加)	
	(ガルデルマ社) 発売中	塩酸アモロルフィン ネイルラッカー	爪白癬治療剤	自社	日本初のネイルラッカー製剤	
	Ph II (04年10月)	KRP-204 (錠)	抗肥満剤	日清製粉	選択性の高いβ3受容体作動薬 従来のβ3作動薬に比べて心への影響が少なく、 肥満を改善することが期待される	日清製粉グループ本社 日清ファルマと共同開発 Ph II a終了
Ph II (07年3月)		KRP-204 (錠)	過活動膀胱 治療剤	日清製粉	β3受容体作動薬 膀胱におけるβ3受容体の活性化により膀胱を弛緩 させ蓄尿機能を高めることが期待される	日清製粉グループ本社 日清ファルマと共同開発 ・Ph II a終了
Ph II (05年3月)	(エーザイ) Ph III	AS-3201 (錠)	糖尿病合併症 治療剤	大日本 住友製薬	アルドース還元酵素を強力に阻害することにより細胞 内のソルビトール蓄積を抑制し、糖尿病性神経障害を 改善する	・大日本住友製薬と 共同開発(国内のみ) ・Ph II b(07年9月)開始
	Ph II (04年6月)	KRP-101 (錠)	脂質代謝改善/ 糖尿病治療剤	自社	PPARαアゴニスト。中性脂肪等脂質代謝改善作用に 加えて、糖尿病に対する有効性が期待される	Ph II a終了
Ph II (08年2月)	Ph II (07年9月)	KRP-104	糖尿病治療剤	自社	DPPIV阻害剤。インスリン分泌ホルモンの分解を抑え ることにより血糖低下作用を示す。副作用の発現が 少ない糖尿病治療が期待される	※海外Ph II a終了 (08年8月)
※Ph II (08年8月)	米国:アボット (欧州他: ムンディファーマ Ph III)	KRP-108	気管支喘息治 療剤	スカイ ファーマ社	ステロイド及び長時間作動型β作動薬の配合剤で利便 性やコンプライアンスに優れる	スカイファーマ社と ライセンス契約(08年4月)

開発品一覧②(08年11月11日現在)

POCプロジェクト(前臨床～Ph I)

※: 前回(09年3月期第1四半期)からの変更点を示す

開発段階		製品名・ 開発コード	薬効	起源	特徴	備考
国内	海外					
	Ph I (07年7月)	KRP-203	自己免疫疾患、 臓器移植	自社	S1P受容体アゴニスト。新規メカニズムを有する免疫調整剤。既存の免疫抑制剤に比べて安全性が高く、かつ優れた併用効果が期待される	ノバルティス社と ライセンス契約(06年2月)
	Ph I (07年10月)	KRP-105	脂質代謝改善	自社	選択性の高いPPAR α アゴニスト。KRP-101よりもさらにPPAR α 受容体に対して選択性が高い。脂質改善作用に加え、アディポネクチンの増加、レプチンの減少、体重増加抑制作用などが動物実験で確認されており、新たな脂質改善剤として期待される	
前臨床		※KRP-107	自己免疫疾患、 臓器移植	自社	S1P1受容体選択的アゴニスト。	

開発品一覧③(08年11月11日現在)

導出品の状況

※: 前回(09年3月期第1四半期)からの変更点を示す

製品名・ 開発コード	導出先・ 共同研究先	開発段階	薬効	起源	備考
アルファガン/ アルファガンP	千寿製薬	国内PhⅢ (07年7月)	緑内障治療薬	米国 アラガン社	・アラガン社より導入 (ガチフロキサシン点眼液のクロスライセンス) ・千寿製薬に導出(04年5月)
ケタス	米国 メディシノバ社	海外PhⅡ (05年8月)	脳血管障害治療薬	自社	・多発性硬化症の適応での日本、中国、 韓国、台湾を除く全世界における独占的 な開発、製造販売権を供与(04年10月) 08年4月 PhⅡの結果を公表
KCA-757	米国 メディシノバ社	海外PhⅢ (気管支喘息: 06年11月) 海外PhⅡ/Ⅲ (間質性膀胱炎: 05年5月)	気管支喘息治療薬 間質性膀胱炎治療薬	自社	・日本、中国、韓国、台湾を除く全世界に おける独占的な開発、販売権を供与 ・間質性膀胱炎:07年1月に結果を公表、 開発を中断 ・気管支喘息:海外PhⅢ一旦停止
KRP-203	スイス ノバルティス社	海外PhⅠ (07年7月)	自己免疫疾患、 臓器移植	自社	・移植用の免疫調整剤として、全世界の開発及び 販売権、自己免疫疾患及びその他の疾患用剤と して、日本、中国、韓国、台湾を除く全世界の 開発及び販売権(なお、炎症性腸疾患用剤と しては、全世界の権利を留保している)を供与 (06年2月)

主な業績項目の推移：連結

(単位:百万円)

	07年3月期 第2四半期	08年3月期 第2四半期	09年3月期 第2四半期	08年3月期	09年3月期 (予想)	09年3月期 (当初予想)
売上高 (海外売上高)	35,093 (2,246)	39,363 (2,518)	40,261 (1,835)	81,070 (4,367)	88,600 (3,200)	90,400 (4,000)
売上原価 (売上原価率)%	14,513 (41.4%)	14,701 (37.3%)	17,718 (44.0%)	31,757 (39.2%)	—	—
販売費及び一般管理費 (販管费率)%	18,639 (53.1%)	21,873 (55.6%)	21,298 (52.9%)	43,061 (53.1%)	—	—
うち研究開発費 (研究開発费率)%	3,982 (11.3%)	5,676 (14.4%)	4,968 (12.3%)	10,826 (13.4%)	11,000 (12.4%)	12,200 (13.5%)
営業利益 (営業利益率)%	1,940 (5.5%)	2,788 (7.1%)	1,243 (3.1%)	6,251 (7.7%)	6,700 (7.6%)	8,000 (8.8%)
経常利益 (経常利益率)%	2,061 (5.9%)	3,118 (7.9%)	1,175 (2.9%)	6,643 (8.2%)	7,000 (7.9%)	8,400 (9.3%)
四半期(当期)純利益 (四半期(当期)純利益率)%	833 (2.4%)	953 (2.4%)	▲1,606 (▲4.0%)	2,189 (2.7%)	1,600 (1.8%)	4,900 (5.4%)
一株当たり当期利益(円)	11.21円	12.74円	▲21.48円	29.26円	21.39円	65.49円
資本金	700	700	700	700		
総資産	117,915	121,776	123,299	122,398		
純資産	94,993	97,427	94,304	97,184		
一株当たり純資産(円)	1,268.91円	1,301.82円	1,260.93円	1,298.89円		
自己資本利益率%	0.9%	1.0%	▲1.7%	2.2%		
自己資本比率%	80.0%	80.0%	76.5%	79.4%		
人員(人)	1,927人	2,003人	2,059人	2,003人		
設備投資	1,223	1,451	1,115	1,952	2,500	2,600
減価償却費	2,304	2,214	2,028	4,536	3,800	4,000

損益計算書の概要：キョーリン製薬単体①

(単位：百万円)

	08年3月期 第2四半期		09年3月期 第2四半期累計期間			
	実績	売上比	実績	売上比	前同比	前年増減額
売上高	34,171	100.0%	34,425	100.0%	0.7%	254
新医薬品	32,689	95.7%	32,998	95.9%	0.9%	308
国内	30,289	88.7%	31,239	90.8%	3.1%	950
海外	2,399	7.0%	1,758	5.1%	▲26.7%	▲641
後発医薬品	178	0.5%	146	0.4%	▲18.2%	▲32
ヘルスケア	1,303	3.8%	1,281	3.7%	▲1.7%	▲22

<当期のポイント>

- 売上高 34,425百万円 (+ 254百万円)
● 国内新医薬品 31,239百万円 (+ 950百万円)

対前年

前期実績 当期実績 (億円)

- ・ムコダイン 90 → 87 (▲ 3)
- ・キプレス 79 → 104 (+25)
- ・ペンタサ 44 → 71 (+27)
- ・ウリトス 5 → 6 (+ 1)

* その他 (バイナス、ヘスパンダーの自社販売終了)、一時金収入の減少等
* ガチフロ錠は9月30日付で自主的に販売中止

- 海外新医薬品 1,758百万円 (▲ 641百万円)

- ・ガチフロキサシン 16 → 14 (▲ 2)

* 一時金収入の減少

- 後発医薬品 146百万円 (▲ 32百万円)

- ヘルスケア 1,281百万円 (▲ 22百万円)

- ・ミルトン 10 → 9 (▲ 1)

損益計算書の概要：キョーリン製薬単体－②



(単位：百万円)

	08年3月期 第2四半期		09年3月期 第2四半期累計期間			
	実績	売上比	実績	売上比	前同比	前年増減額
売上高	34,171	100.0%	34,425	100.0%	0.7%	254
売上原価	11,522	33.7%	14,096	40.9%	22.3%	2,573
売上総利益	22,648	66.3%	20,328	59.1%	▲10.2%	▲2,319
販売費及び一般管理費 (うち研究費)	19,571 (5,155)	57.3% 15.1%	18,642 (4,508)	54.2% 13.1%	▲4.8% (▲12.6%)	▲928 (▲647)
営業利益	3,076	9.0%	1,685	4.9%	▲45.2%	▲1,390
営業外収益	347	1.0%	456	1.3%	31.4%	109
営業外費用	100	0.3%	16	0.0%	▲83.5%	▲84
経常利益	3,323	9.7%	2,125	6.2%	▲36.0%	▲1,197
特別利益	9	0.0%	76	0.2%	723.9%	66
特別損失	83	0.2%	2,646	7.7%	3070.9%	2,562
税引前 四半期純利益	3,249	9.5%	▲443	▲1.3%	▲113.7%	▲3,692
法人税・住民税 及び事業税	647	1.9%	1,257	3.7%	94.3%	610
法人税等調整額	868	2.5%	▲1,421	▲4.1%	▲263.6%	▲2,289
四半期純利益	1,733	5.1%	▲280	▲0.8%	▲116.2%	▲2,013

<当期のポイント>

- ◆原価率：前年比 7.2ポイント上昇
(33.7%→40.9%)
* 上昇要因：薬価改定(約4%)の影響、一時金収入の減少、製品販売構成の変化
- ◆研究開発費率：前年比 2.0ポイント低下
(15.1%→13.1%)
* 52億円→45億円(7億円減少)
減少要因：前期は共同開発の費用の期ずれによる計上
増加要因：導入品フルチフォームの契約一時金を計上
- ◆販管費率(除R&D費)：前年比1.1ポイント減少
(42.2%→41.1%)
* 144億円→141億円(3億円減少)
- 営業利益 1,685百万円
(▲1,390百万円)
* 営業利益率は4.9%と4.1ポイント低下
- 四半期純利益 ▲280百万円
(▲2,013百万円)
特別損失：約26億円

貸借対照表の概要：キョーリン製薬単体

(単位:百万円)

	08年3月期		09年3月期第2四半期累計期間		
	実績	構成比	実績	構成比	前期末増減
流動資産	57,044	54.4%	60,156	56.5%	3,112
現金および預金	7,755		10,210		
売掛金	25,895		23,884		
有価証券	2,007		2,272		
棚卸資産	17,156		17,913		
その他流動資産	4,229		5,875		
固定資産	47,866	45.6%	46,321	43.5%	▲1,544
有形固定資産	14,771		14,373		
無形固定資産	1,450		778		
投資その他	31,644		31,169		
資産合計	104,910	100.0%	106,478	100.0%	1,568
流動負債	13,824	13.2%	16,784	15.8%	2,960
支払手形	1,560		2,678		
買掛金	6,407		4,913		
その他流動負債	5,855		9,192		
固定負債	4,293	4.1%	4,336	4.1%	42
負債合計	18,118	17.3%	21,121	19.8%	3,003
株主資本	86,140	82.1%	85,303	80.1%	▲837
評価・換算差額等	651	0.6%	53	0.1%	▲597
純資産合計	86,792	82.7%	85,356	80.2%	▲1,435
負債及び純資産合計	104,910	100.0%	106,478	100.0%	1,568

<当期のポイント>

- 流動資産： 3,112百万円増
 - ・現金及び預金の増加 (2,454百万円増)
 - ・売掛金の減少 (2,010百万円減)
 - ・有価証券の増加 (265百万円増)
 - ・棚卸資産の増加 (756百万円増)
 - ・その他流動資産の増加 (1,645百万円増)
- 固定資産： 1,544百万円減
 - ・有形固定資産の減少 (397百万円減)
 - ・無形固定資産の減少 (672百万円減)
 - ・投資その他の減少 (474百万円減)
- 流動負債： 2,960百万円増
 - ・支払手形の増加 (1,117百万円増)
 - ・買掛金の減少 (1,493百万円減)
 - ・その他流動負債の増加 (3,336百万円増)
- 固定負債： 42百万円増

主な業績項目の推移: キョーリン製薬単体

(単位:
百万円)

	07年3月期 第2四半期	08年3月期 第2四半期	09年3月期 第2四半期	08年3月期	09年3月期 (予想)	09年3月期 (当初予想)
売上高 (輸出高)	30,268 (2,223)	34,171 (2,399)	34,425 (1,758)	70,480 (4,155)	75,900 (3,200)	77,800 (3,900)
売上原価 (売上原価率)%	11,385 (37.6%)	11,522 (33.7%)	14,096 (40.9%)	25,217 (35.8%)	—	—
販売費及び一般管理費 (販管费率)%	17,110 (56.5%)	19,571 (57.3%)	18,642 (54.2%)	38,319 (54.4%)	—	—
うち研究開発費 (研究開発费率)%	3,808 (12.6%)	5,155 (15.1%)	4,508 (13.1%)	9,959 (14.1%)	10,500 (13.8%)	11,500 (14.8%)
営業利益 (営業利益率)%	1,772 (5.9%)	3,076 (9.0%)	1,685 (4.9%)	6,942 (9.8%)	6,400 (8.4%)	7,600 (9.8%)
経常利益 (経常利益率)%	1,666 (5.5%)	3,323 (9.7%)	2,125 (6.2%)	7,328 (10.4%)	7,400 (9.7%)	8,400 (10.8%)
四半期(当期)純利益 (四半期(当期)純利益率)%	953 (3.2%)	1,733 (5.1%)	▲280 (▲0.8%)	3,776 (5.4%)	2,700 (3.6%)	5,100 (6.6%)
一株当たり当期利益(円)	12.84円	23.34円	▲3.78円	50.85円		
資本金	4,317	4,317	4,317	4,317		
総資産	108,252	104,454	106,478	104,910		
純資産	91,476	86,141	85,356	86,792		
一株当たり純資産(円)	1,231.71円	1,159.87円	1,149.31円	1,168.63円		
自己資本利益率%	1.0%	2.0%	▲0.3%	4.4%		
自己資本比率%	84.5%	82.5%	80.2%	82.7%		
人員(人)	1,524人	1,532人	1,567人	1,517人		
設備投資	967	729	577	1,350	1,700	1,800
減価償却費	2,074	1,880	1,656	3,844	3,100	3,200

参考資料：主な子会社の業績と予想

(単位:億円)

キョーリン製薬
売上高
営業利益
四半期(当期)純利益

08年3月期 第2四半期	09年3月期 第2四半期
342	344
31	17
17	▲3

08年3月期	09年3月期 (予想)
705	759
69	64
38	27

09年3月期 (当初予想)
778
76
51

キョーリン リメディオ
売上高
営業利益
四半期(当期)純利益

08年1月期 第2四半期	09年1月期 第2四半期
30	34
▲4	▲4
▲9	▲5

08年1月期	09年1月期 (予想)
60	77
▲7	▲3
▲14	▲5

09年1月期 (当初予想)
77
1
▲0

ドクタープログラム
売上高
営業利益
四半期(当期)純利益

08年1月期 第2四半期	09年1月期 第2四半期
16	19
▲2	▲1
▲1	▲1

08年1月期	09年1月期 (予想)
34	40
▲3	1
▲4	0

09年1月期 (当初予想)
40
1
0